

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

令和元年 11 月 7 日

審査機関名 ソロテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJKC1013
排出削減事業者名	川端製紙株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン
事業実施場所	川端製紙株式会社 本社工場 (住所) 福井県福井市天池 38
事業の概要	A 重油ボイラ 6 基のボイラ機能の一部を木質バイオマスボイラ 1 基へ更新する。木質バイオマスを使用することによって、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2011 年度：578 tCO2/年 2012 年度：1,815 tCO2/年 2013 年度：1,854 tCO2/年 2014 年度：1,854 tCO2/年 2015 年度：1,854 tCO2/年 2016 年度：1,854 tCO2/年 2017 年度：1,854 tCO2/年 2018 年度：1,854 tCO2/年 2019 年度：370 tCO2/年 (事業実施期間合計 13,887 tCO2)
認証期間	開始日 2011 年 6 月 13 日 終了予定日 2019 年 6 月 12 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2019 年 6 月 12 日となっている。

排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新
---------	------------------------

2. 本実績確認の対象期間

2016年4月1日～2019年6月12日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	10,806 tCO ₂ （2016年4月1日～2019年6月12日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 ボイラー運転日報の給水、圧力、温度データ等及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 ボイラー運転日報の給水、圧力、温度データ等、排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 ボイラー運転日報の給水、圧力、温度データ、水質分析結果等及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリングデータの記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロ

	<p>ジェクト用) Ver.3.4 により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果をボイラー運転日報の給水、圧力、温度データ、水質分析結果等と集計表との突合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2016 年 4 月 1 日から 2019 年 6 月 12 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2019 年 6 月 12 日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する再生可能エネルギー利用量は以下の通りである。

エネルギー使用量：186,856 GJ

原油換算：4,820.9 kL

以 上